日本キリスト教団 東金教会〔４０〕

2019年10月13日 聖霊降臨節第１９主日礼拝

年度目標 《キリストに根を下ろして生きる》

聖　句 キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って… コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式	岡村	
奏楽	中村	
受付	三枝	
案内	寺内	
名札係	藤田	
礼拝感謝祈祷	安延	
〃〃	井上	
前奏	中村	
讃美歌	58 一同	
使徒信条	566 〃	
交読文	39 司・会衆	
主の祈り	564 一同	
聖書	ガラテヤ書 司会者	
	3：1～6	
祈祷	岡村	
新聖歌	40 一同	
み言葉の伝え	中村征一郎	
	〈ただ聞き、信じる〉	
讃美歌	355 一同	
献金		
礼拝感謝	安延	
〃〃	井上	
報告	岡村	
頌栄	541 一同	
祝祷(派遣)	中村征一郎	
後奏	新聖歌58 聖歌隊	

【集会案内】

聖書研究祈祷会 10月１６日(水)午後7時半～
早天祈祷会 月～金7時(除祭日)メーヤー館
定期長老会 本日礼拝後
聖書輪読会 10月20日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 10月20日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日は神学校日です。神学校のお働きが神に用いられ、人間中心の世でありますが、神のお言葉が真剣に受け止められるようになって行きますよう祈りを重ねたいとおもいます。

☆１０月１５日(火)より幼・保園入園児募集が開始されます。どうぞこのことのためにお祈り下さい。

☆バザー献品を受け付けております。ご献品宜しくお願い致します。

☆１０月２７日バザー値段付けを予定しております。お覚え下さい。

【分区・支区・教区報告】

○支区区長期検討委員会 10/21 17:00～
於・松戸教会

○東総分区牧師会 11/12　10:30～
於・九十九里教会

【10月13日～10月20日誕生者】

○松村　姉

※互いに主に繋がる枝々として祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(10/6)	13	37	50
聖研祈祷会(10/9)	2	4	6
聖書輪読会(10/6)	2	3	5
教会学校(10/6)	7	16	23

早天祈祷会			
日	男	女	計
10/7	1	1	2
10/8	1	1	2
10/9	1	1	2
10/10	1	1	2
10/11	1	1	2

主日礼拝献金(10/6)……３４,０００円
教会学校献金(10/６)……１７,６００円

【今日のメッセージ】

題　［ただ聞き、信じる］
聖　書　ガラテヤ書3:1～6
1・
2・
3・

【次週(10月20日)礼拝式案内】

み言葉の伝え 〈誤った恐怖心〉
聖　書 ルカ福音書19:11～27
交読文 ４０番
讃美歌 １５番　１４３番
新聖歌 ４６５番

【次週(10月20日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え	…	朴
司式者	…	藤田
奏楽者	…	中里
受付者	…	鈴木
案内者	…	三枝
名札当番	…	土屋
礼拝感謝祈祷	…	土屋
〃〃	…	武田
csお話し	…	阿波
会堂清掃者	…	薬師寺
〃〃	…	
花係	…	猪野
看板書き	…	澤本

【聖書から】

わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子にたいする信仰によるものです。

ガラテヤ書二章二〇節

パウロはここでキリストへの忠誠を語る。その忠誠の程は私達の想像を遥かに超える。私達の誰がこれほどの帰依をキリストに対して寄せることができるかと云う程のものである。彼はこの世を去り、死に行くことを恐れない。またこの世に生き長らえることも、それがどんなに労苦に満ちたものであろうと恐れない。死に行くことも生き長らえることも全てキリストと次第である。なぜこのようにキリストとともに歩もうとするのか？　それはキリストの私に対する愛の故であると彼は語る。主キリストが十字架においてご自身をこの世に献げられたそのお姿！、それは取りも直さずパウロの罪を赦し、パウロを父なる神と和解させ、この滅び行く者を神の命に生かしめるために｜パウロのために！｜十字架に架かられたのだ、と強く強く意識したからに他ならない。そして｜付け加えれば｜このようなパウロの意識は、彼が特別の感受性を持っていたとか、彼の性質がこのような宗教性に富んでいたとか云うことではない。それを超えて、聖霊なる神がこのように彼の限界を超えて働かれたからに他ならない。だから彼はこのようなキリストに信頼するという。ところが最新の共同訳聖書ではもう一歩踏み込んだ訳を採用している。キリストへの(パウロの)信仰でなく「キリストの真実の故に」今あるを得ている、と訳す。つまり自分が死も生もキリストの云われるままなのは、キリストが自分に対して示して下さった愛に応えるために己の全てを賭け、その実存の全てを投げ打ってキリストを信じる！と云うのでない。それだけでは足りない。自分という存在はそれほど信頼できる者でない。ど んなに力を尽くしても裏切る可能性をひめている。このような自分をキリストはご自身の真実をもって守られる。自分の今ある根拠はこのキリストの真実の力による。それが彼の信仰である。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。